

湧きあがる輝き、
共に歩む七十年。

YEARS
ANNIVERSARY
CELEBRATION

70

鹿児島県印刷工業組合

鹿児島県印刷工業組合
創立70周年記念式典

創立70周年記念祝賀会・第46回印刷年始会
岩重昌勝氏「藍綬褒章」「中小企業庁長官表彰」受章祝賀会

令和8年2月3日火曜日

城山ホテル鹿児島

印刷産業人綱領

われわれ印刷産業人は
 社会の責任ある一員としてその使命を自覚し
 国民生活及び文化の向上に寄与するとともに
 産業基盤の強化と限りない発展をめざして本綱領を掲げる

-
- 一、われわれは
 印刷産業人たるモラルを堅持し、自ら律して行動するとともに
 常に地球環境保全と地域社会との連携調和に努める
-
- 一、われわれは
 情報社会の推進者たる誇りを堅持し
 優れた技術と積極的な提案を持って顧客に応え
 常に有益な製品及びサービスを提供する
-
- 一、われわれは
 たがいにその立場を尊重し、協調と秩序を重んじ
 叡智を集め業界発展に尽す

目次

印刷産業人綱領・目次	1
式次第	2
式辞 鹿児島県印刷工業組合 理事長 岩重昌勝	3
祝辞 鹿児島市長 下鶴隆央様	4
全日本印刷工業組合連合会 会長 瀬田章弘様	5
鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史様	6
藍綬褒章・中小企業庁長官表彰 受章者ご紹介	7
歴代理事長プロフィール	9
鹿児島県印刷工業組合のあゆみ	11
来賓ご芳名・友好参加者	14
関連業界ご芳名	15
組合関係参加者・賛助会員参加者	16
記念講演会講師プロフィール	17
記念パフォーマンス	18

創立70周年記念式典・祝賀会 次第

70周年記念式典

16:30～17:00 クリスタルガーデン（2F） 司会進行：月野 るり子

開 式

黙 禱

国歌斉唱

印刷産業人綱領宣言

鹿児島県印刷工業組合 理事

川 路 理 幸

式 辞

鹿児島県印刷工業組合 理事長

岩 重 昌 勝

来賓紹介

来賓祝辞

鹿児島市長

下 鶴 隆 央 様

鹿児島県中小企業団体中央会会長

小 正 芳 史 様

鹿児島県中小企業団体中央会 会館建設へ寄付金と感謝状の贈呈

鹿児島県印刷工業組合 理事長

岩 重 昌 勝

株式会社商工組合中央金庫より感謝状贈呈

鹿児島支店長

藤 田 識 雄 様

祝電披露

閉 式

記念講演会 17:00～18:20 クリスタルガーデン（2F）

演 題

「麴で世界を救う！

日本が繋ぐ発酵食の豊かな文化と老舗種麴屋の挑戦」

講 師

株式会社河内源一郎商店 代表取締役会長

山 元 正 博 氏

株式会社源麴研究所 代表取締役社長

山 元 文 晴 氏

記念祝賀会・年始会及び受章祝賀会

18:30～21:00 クリスタルガーデン（2F） 司会進行：月野 るり子

開演あいさつ

鹿児島県印刷工業組合 理事長

岩 重 昌 勝

来賓祝辞

鹿児島県知事

塩 田 康 一 様

全日本印刷工業組合連合会会長

瀬 田 章 弘 様

藍綬褒章受章及び中小企業庁長官表彰受賞 岩重昌勝氏へ組合より記念品授与

鹿児島県印刷工業組合副理事長

前 田 幸 一

謝 辞

鹿児島県印刷工業組合 理事長

岩 重 昌 勝

乾 杯

衆議院議員

宮 路 拓 馬 様

記念パフォーマンス

満田昭人 with FRIENDS ～未来、夢、感謝～

・What A Wonderful World ・いのちの歌

・Over the Rainbow 等

締め挨拶

鹿児島県印刷工業組合副理事長

岡 崎 洋 人

閉 宴



ごあいさつ 「70周年を迎えて」

鹿児島県印刷工業組合

理事長 **岩重 昌勝**

令和8年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。
組合員、賛助会員、そして関連業界の皆様におかれましては平素より組合活動へのご理解とご協力を賜り心より厚く感謝申し上げます。また新春の輝かしいこの日に塩田鹿児島県知事、下鶴鹿児島市長を始め議会や経済団体、金融機関から多くのご来賓をお迎えして創立70周年の式典・祝賀会を挙行できますことは、関係者一同、大変嬉しく大きな喜びでございます。

当工組は昭和30年9月3日に「鹿児島県印刷工業調整組合」として創立しました。当時の経緯が平成15年1月に発行された「かごしま印刷史」に詳細に記されており、一部を抜粋して紹介します。

100% 加入の偉業

2年がかりで準備を進めてきた「鹿児島県印刷工業調整組合」の創立総会は昭和30年9月3日午後2時半から鹿児島市商工会館で開催された。宮崎には後れをとったが、内容と実体を伴った調整創立総会は九州では鹿児島が初めてであった。発起人には馬場泰蔵ら主だった業者13人が名を連ねた。設立参加メンバーは117名、従業員総数は1,158名であった。工業会のメンバー(約90人)に加えて約30人の新規加入を増やした。未加入は地方の一部の4業者だけであり、ほぼ100%の加入は全国でも例がなく、業界紙「紙と印刷」は「記録的覇業樹立」と報じた。(かごしま印刷史 215頁)

この背景には朝鮮戦争特需の反動による不景気で企業の倒産が続出し、それで立案された「中小企業安定法」に「印刷業」も指定され、業界に秩序と安定を図る目的

がありました。それだけ当時の業界の経営環境や社会情勢が厳しく、新たに発足する組織に大きな期待が寄せられた証であろうと推察します。

これまでの70年間、大きく変化する社会環境と時代のニーズに合わせ、様々な事業を行ってまいりました。そのひとつひとつの積み重ねがあればこそ、今日まで組合組織が永続してこられたのだと改めて感じます。これも偏に歴代理事長をはじめ、役員、組合員の皆様方のご尽力と関連産業の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝する次第です。

ところで近年は地震や豪雨、台風等の災害が全国各地で発生し、印刷業に限らず商工業や観光業などの幅広い業種に影響を及ぼしております。労働環境の変化は人手不足を生み、最低賃金の大幅な上昇が図られていても、各種保険料の値上げによる、労働者の手取り額の止まらぬ減少は景気上昇の「てこ」である消費活動を抑制しております。世界的にもトランプ関税の影響や戦争による資源高やエネルギー不足への懸念、円安や政権枠組み、そして財政政策の変化の影響で長期金利が上昇し我々、中小企業の経営環境は大企業の好況に反して、まだまだ苦難の状態から脱しておりません。

時代も昭和、平成、令和と変わり、印刷業もアナログからデジタルへ、そしてAIの環境へと変わりました。パソコンの普及により印刷物の製作が印刷会社の手を離れ、一般の事業所でも可能な時代となっております。こうした環境に於いて地方の印刷業者の進むべきは「全印工連」が唱える、自治体や地域の課題解決支援を行うローカルゼブラ企業を目指し多様な分野での協創の推進役となることだと考えます。

本年は70周年の記念事業として先ほどご紹介した560年に及ぶ薩摩の印刷史を526ページにまとめた「かごしま印刷史」や全印工連70年史、当工組のここ20年に亘る印刷年始会のプログラムをアーカイブ化して組合ウェブサイトへ掲載します。印刷に関わる人々は言うに及ばず、これから社会に出ていく若い皆さんにも手軽に閲覧できる環境を作り印刷業界への興味を持つきっかけとなればと期待します。

結びに70周年記念式典、第46回印刷年始会開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました多くの方々に対し、深甚より感謝申し上げます、そしてご臨席賜りました皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りして、令和8年の年頭のご挨拶と70周年を迎えることができましたお礼とさせていただきます。



鹿児島市長
下 鶴 隆 央

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、鹿児島県印刷工業組合が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年の創立以来、事業活動を通じて地域経済の発展等に大きな役割を果たしてこられましたことに深く敬意を表しますとともに、鹿児島市政に対しまして、各面から温かいご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、岩重理事長におかれましては、この度の藍綬褒章のご受章及び中小企業庁長官表彰のご受賞、誠にありがとうございます。

急激なデジタル化の進展による印刷物のニーズ減少や原材料の価格高騰など、業界を取り巻く環境が厳しい中、理事長をはじめ組合員の皆様が、さらなる経営改善や付加価値の向上などに積極的に取り組まれていることを大変心強く感じております。

本市におきましても、長引く物価高に加え、人手不足の顕在化等により、市民生活や事業活動が厳しさを増す中、この難局を乗り越え、次の世代に持続

可能で豊かな鹿児島市を引き継いでいくためには、物価高から地域の暮らしを守り抜くことを最優先しつつ、全ての方々に選ばれるまちを築き上げることが急務であると考えております。

その実現に向けては、人口減少が進む中でも活力ある地域経済を維持していくことが重要であり、高付加価値型の産業・事業の創出や海外展開の促進等の取組を一層進め、地域の稼ぐ力を高めるとともに、働き方改革やアンコンシャス・バイアスの解消など、若者・女性が活躍できる魅力的で安定した雇用の場の確保を図ってまいります。

皆様方におかれましては、これまで長きにわたり培ってこられた高い技術力や企画・発想力を存分に発揮され、地域経済の牽引役として、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、貴組合がこのたびの節目を新たな出発点として益々発展されますことと、組合員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの挨拶といたします。



新年のご挨拶

「足元を固め、価値協創を」

全日本印刷工業組合連合会

会長 瀬田 章弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より全日本印刷工業組合連合会の各事業に対しご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2026年は地政学的な諸問題、貿易関税の問題やインフレ経済移行への諸問題などを昨年から引継ぎスタートしました。歴史を振り返りますと激動期を生きた孟子は物事を成し遂げるには天の時、地の利、人の和が重要で、特に人の和が最も大切と説いております。これは我々が掲げるCSR経営に通ずるものと思われまふ。一方、天地人の言葉の中で今年のキーワードは「地」であると私は考えております。地とは、地理・地勢を意味し現場・地盤・地域・地球といった意味をも内包するものです。我々印刷産業は「足もとを確かめ、産業を再構築する」ことを早急に進めなくてはならないと感じています。AIなど技術革新が加速度的に進む一方、現場と地域に根差した新たな価値創出こそが、印刷産業が未来へ歩みを進める上で不可欠であると思ひます。

ところで価値創出を実践するにはまず確かな地盤が必要です。本年、まず重視して取り組むのは「取引適正化」と「知的資産の保全」です。これまで印刷業界では価格転嫁や権利処理が十分に行われず、企業の持続性を損ねるケースも散見されました。取適法が施行される中、その根本的課題に向き合うため経済産業省の確認を得たうえで、業界として初となる統一的な「基本取引契約書の雛型」を策定し、全国での普及を進めます。これは単なる書面整備にとどまらず、印刷産業が社会から信頼される商慣行

を確立し、次の世代に健全な産業基盤を引き継ぐための重要な礎となるものです。

さらに地域社会との連携強化も本年の大きなテーマです。印刷会社は行政・教育機関・企業団体などあらゆる産業と接しており、地域経済のハブとして独自の強みを持っています。こうした地域密着の特性を生かし、自治体や地域の課題解決支援を行うローカルゼブラ企業を目指し多様な分野での協創の推進役になるべきと考えております。

また、地球を考える環境対応はもはや避けて通れない課題です。環境配慮認証制度の普及、CO₂排出量の算定、印刷工程の省エネ化支援、企業の実務に直結する支援策をさらに拡充していく所存です。同時にデジタルメディアには無い紙メディアの価値を広く社会に発信することも推進して参ります。

2026年は印刷産業が「新たな成長の地固め」を進める一年となることを目指し、変化の波にただ流されるのではなく、現場の知見を尊重し、地域に寄り添い、技術革新を柔軟に取り入れ、共に未来を切り開いて行く年としましょう。

本年が、印刷産業にとって新たな飛躍の年となるよう、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、各組合員のますますのご発展と皆様のご健勝を心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正 芳史

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島県印刷工業組合におかれましては、創立70周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

また、日頃より中央会の事業推進につきまして、格別のご理解ご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。併せまして、昨年12月の本会創立70周年記念式典に際しましては、多大なるご支援ご協力を賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年12月に鹿児島県印刷工業調整組合として設立され、以来70年の永きにわたり、組合員企業の経営合理化や印刷技術の向上などに取り組み、本県印刷業界の振興発展と地域文化の継承に多大なる貢献を果たしてこられました。これもひとえに岩重理事長をはじめ歴代理事長、役職員、組合員の皆様方のこれまでのご尽力とご労苦の賜物と深く敬意を表します。

さて、わが国経済は日経平均株価が最高値を更新し続けるなど回復基調を維持しておりますが、物価上昇やエネルギーコストの高止まり、人手不足の深刻化に加え、適正な価格転嫁が進まないことによる賃上げ原資の不足など、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しております。さらに、不安定な国際情勢や円安の進行、政策金利の引き上げなど経営における不確実性が高まっており、今後も予断を許さない状況が続いております。

このような中、政府は「責任ある積極財政」を掲

げ、経済の活性化や物価高対策、成長戦略の推進を通して「強い日本経済をつくる」というビジョンが示されたところですが、今後、実効ある中小企業施策の実現が期待されるところであります。

本会におきましても、従来の組織化支援に加え、「ものづくり補助金」や「省力化投資補助金」などの推進を通じて、中小企業の生産性向上や経営力強化を強力に後押しするとともに、デジタル化・人材育成・事業承継などの課題解決に尽力しております。

これからも「組合と共に明日を拓く中央会」の理念の下、組合並びに中小企業の活性化と地域経済の振興発展に全力で取り組んで参ります。

貴組合におかれましては、デジタル技術の進展やメディアの多様化など、まさに激動の時代の中にあります。このような時代にこそ、相互扶助の精神を礎に、多様化する顧客ニーズや社会的要請に的確かつ迅速に応え、サービスの差別化・高付加価値化の実現に向け、組合員一丸となって取り組まれるとともに、次なる80周年、さらには100周年に向かって力強く飛躍されますことをご期待申し上げます。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。火のように燃える情熱と行動力が高まり、新しい挑戦や飛躍に良い結果が結びつきやすい年とされております。

中小企業者が力を合わせて様々なことにチャレンジし、馬が力強く大地を駆け抜けるように活気に満ち溢れた一年となることをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

藍綬褒章・中小企業庁長官表彰

受章 岩重昌勝氏 ご紹介



藍綬褒章

【岩重昌勝氏 略歴】

昭和35年8月18日生まれ（満65歳）

- 昭和63年8月1日 協業組合ユニカラー勤務
- 平成元年5月1日 理事就任
- 平成3年3月1日 専務理事就任
- 平成12年5月31日 理事長就任 現在に至る
その間、平成12年5月27日
鹿児島県印刷工業組合理事就任
- 平成13年5月26日 専務理事就任
- 平成14年6月1日 副理事長就任
- 平成22年5月27日 理事長就任 現在に至る
- 平成8年5月25日～平成12年5月25日 鹿児島県中小企業団体中央会理事就任
- 平成14年5月25日 理事就任
- 平成24年5月26日 常任理事就任
- 平成30年6月12日 副会長就任 現在に至る
- 平成30年6月8日～令和2年6月5日 全国印刷工業組合連合会 常務理事
及び九州地区印刷協議会会長就任
- 平成30年6月20日 鹿児島県火災共済共同組合 理事就任
- 平成26年11月25日 経済産業大臣表彰
- 令和2年3月1日 鹿児島県知事表彰
- 令和6年6月21日 鹿児島県火災共済協同組合 副理事長就任
- 令和7年10月10日 中小企業庁長官表彰
- 令和7年11月3日 藍綬褒章受章



藍綬褒章 メダル（裏面）



中小企業庁長官表彰

令和7年 秋の勲章・褒章伝達式
経済産業省

Introduction



令和7年 秋の勲章・褒章伝達式
経済産業省



岩重昌勝氏と令夫人 志織氏



歴代理事長 プロフィール



初代理事長（県印刷工業調整組合） 馬場 泰蔵氏

昭和30年12月～昭和31年4月（5カ月）

明治37年1月20日鹿児島市生まれ。昭和22年8月文進社印刷株式会社代表取締役社長就任。
【団体歴】昭和25年4月～、県印刷同業組合理事。昭和29年4月～、県印刷同業組合理事長。昭和30年12月～、県印刷工業調整組合理事長。昭和45年4月～、県印刷工業組合顧問。【表彰歴】昭和15年4月、支那事変行賞により勲六等旭日単光章受章。昭和20年8月、任陸軍大尉、同年9月1日付、正七位に叙せられる。昭和47年4月、黄綬褒章受章。昭和47年5月、全印工連顕彰。昭和52年11月、勲五等瑞宝章受章。昭和60年11月25日逝去。



第二・四代理事長 淵上 晋氏

昭和31年4月～昭和36年5月（5年） 昭和39年6月～昭和47年5月（8年）

明治40年1月12日串木野市生まれ。昭和23年9月淵上印刷株式会社代表取締役社長就任。
【団体歴】昭和22年5月～、鹿児島印刷協同組合理事。昭和27年5月～、県印刷工業調整組合副理事長。昭和31年4月～県印刷工業調整組合理事長。昭和33年8月～、40年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和43年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。昭和35年5月～、41年5月～、全印工連理事、のち常務理事。昭和33年5月～、43年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。【表彰歴】昭和45年5月、県中小企業団体中央会組合功勞表彰。昭和48年5月、全印工連表彰。昭和52年11月、勲五等瑞宝章受章。昭和53年9月28日逝去。



第三代理事長 榑 利徳氏

昭和36年5月～昭和39年5月（3年）

明治33年4月15日開聞町生まれ。昭和22年3月、企業組合榑印刷所を創業。
【略歴】陸士34期。昭和7年、中隊長として満州、熱河作戦に参加。支那事変では混成第十二旅団参謀、昭和17年第五十一師団作戦参謀として広東からガダルカナル島に駆逐艦で向かう。上陸直前、米艦隊との戦闘で引き返し、ニューギニアのラバウルへ派出。マラリアに悩み、陸士教官として昭和17年8月帰国。終戦直前は歩兵第四百二十四連隊長として薩摩半島の防衛にあたる。四十五連隊長（中佐）として終戦。【団体歴】昭和36年5月～39年5月、県印刷工業組合理事長。昭和58年1月12日、千葉市にて逝去。



第五代理事長 二宮 桂一郎氏

昭和47年5月～昭和57年5月(10年)

大正6年5月1日ソウル生まれ。昭和26年5月1日日進印刷株式会社代表取締役社長就任。昭和62年5月1日、日進印刷株式会社代表取締役会長就任。【団体歴】昭和30年12月～、県印刷工業調整組合理事。昭和47年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和47年5月～、全印工連理事、常務理事。昭和43年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合副理事長。昭和52年6月～、九州地区印刷協議会副会長。昭和47年6月～、県中小企業団体中央会理事。【表彰歴】昭和43年10月、全印工連表彰。昭和51年5月、県中小企業団体中央会組合功労者表彰。昭和55年10月、中小企業庁長官印刷業界功労者表彰。昭和56年4月、中小企業功労により藍綬褒章受章。昭和63年4月、勲五等双光旭日章受章。平成6年5月1日逝去。



第六代理事長 中谷 良信氏

昭和57年6月～平成2年5月(8年)

大正11年2月1日鹿児島市生まれ。昭和25年3月第一印刷合資会社代表社員就任。県印刷工業組合理事。【団体歴】昭和30年12月～県印刷工業調整組合専務理事。昭和33年8月～、県印刷工業組合専務理事。昭和39年6月～、県印刷工業組合副理事長。昭和57年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和57年6月～、全印工連理事。昭和58年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。昭和48年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。昭和57年7月～、九州地区印刷協議会理事。【表彰歴】昭和55年5月、県中小企業団体中央会永年組合功労者表彰。昭和56年5月、全印工連組合功労者表彰。昭和62年11月、中小企業功労により藍綬褒章受章。平成4年11月、勲五等瑞宝章受章。



第七代理事長 瀨島 重徳氏

平成2年6月～平成10年5月(8年)

大正12年3月25日鹿児島市生まれ。昭和34年1月、浜島印刷株式会社代表取締役社長就任。県印刷工業組合理事。

【団体歴】昭和35年6月～、県印刷工業組合監事。昭和43年6月～、県印刷工業組合副理事長兼理事長代行。平成2年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和57年6月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。平成2年6月～、全印工連理事。平成2年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。平成5年6月～、九州地区印刷協議会副会長。

【表彰歴】昭和55年5月、県中小企業団体中央会功労者表彰。昭和56年5月、全印工連組合功労者表彰。昭和60年10月、九州通産局長組合功労者表彰。平成2年9月、中小企業団体九州大会組合功労者表彰。平成6年9月、中小企業団体組織法施行35周年通商産業大臣表彰。平成8年11月、勲五等瑞宝章受章。平成24年4月23日逝去。



第八代理事長 柳 正保氏

平成10年6月～平成22年5月(12年)

昭和17年3月新潟県生れ。溯上印刷(株)代表取締役会長。鹿児島印刷工業団地協同組合副理事長。【団体歴】昭和47～51年、県印工組理事。昭和51～53年、専務理事。平成2～6年、副理事長。平成10～22年、第八代理事長。平成15年、「かごしま印刷史」南日本出版文化賞受賞を祝う会開催。平成20年、「全日本印刷文化典in鹿児島」主幹。平成10～22年全印工連理事。平成16～22年、九印協副会長。平成21～25年、鹿児島印刷工業団地協理理事長。平成12～27年、九州印刷工業厚年基金理事。平成18年～、県中小企業団体中央会副会長。平成16～24年、県労働委員。【表彰歴】平成14年、全国中央会会長表彰。平成16年、経産大臣表彰。平成18年、日印産連印刷振興賞。平成18年、全印工連功労者表彰。平成21年、藍綬褒章。平成24年、厚労大臣感謝状。

鹿児島県印刷工業組合のあゆみ

- 昭和30年12月1日 鹿児島県印刷工業調整組合創立。中小企業団体の組織に関する法律施行を受け、昭和33年8月8日、鹿児島県印刷工業組合に改組し、現在に至る。
- 昭和39年4月 中小企業近代化促進法による構造改善事業開始。昭和40年代には全印工連主導による「社会に奉仕する印刷セール」事業を展開し、業界として社会還元を行った。
- 昭和43年10月20日 山下町の鹿児島県市町村自治会館にて、明治百年の記念すべき日に創立10周年記念式典を挙行。
- 昭和49年12月 第一次オイルショックによる用紙、インキ、版材などの印刷資材不足が業界に打撃を与え、組合は数次にわたる決起大会の開催や経営改善努力に奔走。
- 平成8年 30年来の懸案であった県営印刷局廃止運動では、街頭署名活動、意見広告掲載、決起大会、陳情攻勢などを行い、当局の理解・配慮により廃止が決定され、終止符が打たれた。バブル経済崩壊とともに、年5次にわたる用紙価格高騰に対応、値上げ阻止運動などを展開した。
- 平成11年9月11日 新装になった鴨池新町の鹿児島県市町村自治会館にて、創立40周年記念式典を挙行し、祝賀会を行った。記念講演会、印刷文化財保存、創立40周年記念誌刊行を期す3事業を記念とした。
- 平成12年4月 40周年記念事業のうち、組合記念誌刊行計画案が理事会にて承認される。
- 平成15年5月 「かごしま印刷史」、地域社会の発展と地方文化の向上に尽くした図書に贈られる南日本出版文化賞受賞決定。
- 平成15年9月3日 鹿児島大学永田行博学長ほか、各界各層の方々をお迎えし、高柳毅氏著「かごしま印刷史」南日本出版文化賞受賞を祝う会、城山観光ホテルにて開催。
- 平成13年度～ 全基連の指導を受け、職場の安全衛生面の底上げを狙いとした3カ年事業、「たんぼぼ計画」に参画、3カ年にわたる事業を推進した。
- 平成16年度～ 雇用・能力開発機構の指導を受け、3カ年の「中小企業人材確保推進事業」を実施。この事業により、印刷営業士47名誕生など、多大な成果。
- 平成15年度 全基連の指導を受け、長期(L)休暇制度基盤整備事業を実施。
- 平成17年3月 九州地区印刷協議会開催ホスト引き受け。福岡工組から同県庁の最低制限価格制度導入決定が報告される。高校サッカー単独日本一を達成した鹿児島実業高校松澤総監督の特別講演も行われた。
- 平成17年7月 地域印刷業界による「鹿児島県印刷産業政治連盟」を設立、県選挙管理委員会に届け出。
- 平成17年11月 鹿児島県における印刷物調達の契約方式改善について、知事宛陳情書を出納長に提出。
- 平成17年12月 県印刷産業政治連盟、第一回総会開催。事業計画案を承認のほか、役員を選任。地域印刷産業界を挙げた体制確立。
- 平成18年1月13日 創立50周年記念式典開催、城山観光ホテルで多くの参加者の下、盛大に行われた。
- 平成19年4月5日 「メンタルヘルスケア」セミナー開催。
- 平成20年4月～ 労働時間等設定改善推進事業受託。
- 平成23年3月
- 平成20年6月18日 MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)セミナー開催。
- 平成20年10月17日～ 2008全日本印刷文化典in鹿児島 城山観光ホテルで盛大に開催。その後の全国大会のモデルとなる。
- 18日
- 平成21年3月6日 ワークライフバランスセミナー開催。労務管理への啓蒙。
- 平成22年1月20日 柳理事長への藍綬褒章受章を祝う会、祝賀会を印刷年始会に併せて開催。
- 平成23年3月17日 東北地方太平洋沖地震に関する災害義援金の募集。



10周年記念式典で挨拶する瀬上晋理事長と式典表彰の方々
(昭和43年)



印刷営業士認定講習会(平成16年8月 県青少年会館)



共済事業キャンペーンで当工組が全国表彰を受ける
(平成17年10月 新潟市)



最低制限価格制度導入へ向け鹿児島県と折衝
(平成27年2月 県庁)



石油パニックで総決起大会(昭和49年 祇園之洲、福祉会館)



組合受入研修生ナウル共和国カーリック・アギル君を紹介(昭和59年 城山観光ホテル)



県営印刷局廃止決起大会に230人集結(平成4年 祇園之洲、福祉会館)



8・6水害は業界にも甚大な被害(平成5年8月)



創立40周年記念式典(平成11年9月)



印刷営業士合格証授与式。47名が見事合格(平成16年11月 城山観光ホテル)



九州地区印刷協議会をホスト(平成17年3月 城山観光ホテル)



南薩地区経営懇談会(平成17年7月 指宿市、COCOはしむれ)



川薩地区経営懇談会(平成17年8月 薩摩川内市、ホテル太陽パレス)



各界からの来賓もお招きして開かれた記念式典(平成20年10月 城山観光ホテル)



第33回印刷年始会(平成23年1月 城山観光ホテル)

- 平成23年10月24日 新事務局(現事務所)にて業務開始。50年以上に亘る旧事務所の歴史に幕が下ろされた。
- 平成24年8月28日 全国の印刷会社で胆管癌発症が社会問題化し、有機溶剤等危険物の取扱いについて、勉強会開催。
- 平成26年3月7日 印刷会社の“著作権”セミナー開催。
- 平成26年9月20日 労働安全衛生法違反の現状の為、シャー作業者特別教育開催。
- 平成27年4月1日 鹿児島県、最低制限価格制度導入。
- 平成27年6月～ 徴収方法全面改定に伴い、新組合費導入。
- 平成27年6月～ 鹿児島県印刷工業組合賛助会員制度を導入、実施。
- 平成28年1月29日 創立60周年記念式典、基調講演、祝賀会、第38回印刷年始会を城山観光ホテルで開催。

創立60周年～10年間の主要な出来事

- 平成28年2月23日 鹿児島市役所、最低制限価格制導入。新年度4月1日より施行。
- 平成28年7月21日 中小印刷産業振興議員連盟加入の要請。(宮路拓馬衆議院議員)
- 平成29年12月6日 九州地区印刷協議会理事長会にて「健康経営運動」、用紙値上げに関するお願い文書の制作と配布が議論される。
- 平成30年6月8日 岩重昌勝理事長、九州地区印刷協議会会長に就任する。
- 平成30年11月21日 知的財産権に関する官公需活動の検討に入る。
- 平成31年1月30日 鹿児島県管財課と最低制限価格制の見直しと知的財産権に関する意見交換会を実施。
- 平成31年4月16日 鹿児島市内主要紙卸商との意見交換会実施(用紙供給の現状の件)。
- 令和元年5月1日 本日より元号が『令和』となる。
- 令和元年10月22日 天皇陛下『即位の礼』が行われる。
- 令和2年6月5日 コロナ禍の為、九州地区印刷協議会通常総会が初めてオンライン会議で開催される。
- 令和3年1月29日 コロナ禍により印刷年始会中止。
- 令和3年5月25日 理事数の変更を目的に定款の変更が決議される。
- 令和3年3月5日 九州地区印刷協議会定例会が福岡にてハイブリッド開催される。
- 令和3年7月29日 恒例のソフトボール大会、鹿児島県の緊急事態宣言により中止。
- 令和4年1月21日 緊急時宣言の為、来週予定の印刷年始会中止決定。
(2年連続中止)
- 令和4年3月4日 九州地区印刷協議会定例会が長崎にてオンライン会議で開催。
- 令和4年11月8日 動力プレス・シャー作業取扱者「特別教育」開催。
- 令和4年12月9日 第12回九州・沖縄青年印刷人鹿児島大会開催される。
- 令和5年3月3日 九州地区印刷協議会定例会が長崎でリアル開催される。
- 令和5年8月26日 鹿児島市下鶴市長に対し「緊急要望書」を提出。
- 令和6年1月27日 全国印刷工業組合、印刷営業士認定試験が実施される。
- 令和6年10月12日 鹿児島県印刷工業組合事務所、再開発に伴い現在地へ移転。
- 令和7年3月6日 九州地区協下定期例会を10年ぶりに鹿児島市で開催。
- 令和7年10月10日 全印工連創立70周年で岩重理事長が中小企業庁長官表彰を授与される。
- 令和7年11月3日 岩重理事長が秋の褒章で藍綬褒章を受章する。
- 令和8年2月3日 組合創立70周年記念式典、印刷年始会、岩重理事長藍綬褒章、中企庁長官表彰祝賀会が合同開催される。



通常総会(平成30年5月)



永年勤続従業員表彰(平成30年5月)



親善ソフトボール大会



公明党政策要望懇談会



鹿児島市へ緊急要望書(令和5年8月 市役所)



鹿児島県管財課と意見交換会(平成30年7月 県庁)

来賓ご芳名

鹿児島県	知事	塩田康一様
鹿児島市	市長	下鶴隆央様
鹿児島県中小企業団体中央会	会長	小正芳史様
鹿児島県中小企業団体中央会	専務理事	永田福一様
全日本印刷工業組合連合会	会長	瀬田章弘様
株式会社商工組合中央金庫鹿児島支店	支店長	藤田識雄様
株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店	副事業統轄	大工貴臣様
株式会社鹿児島銀行	頭取	郡山明久様
株式会社島津興業	常務取締役	田村省三様
中小印刷産業振興議員連盟	衆議院議員	宮路拓馬様
鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問	鹿児島県議会議員	福司山宣介様
鹿児島県建築士事務所協会	顧問	崎元博典様
鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問	鹿児島市議会議員	小南将之様
(株)河内源一郎商店	代表取締役会長	山元正博様
(株)源麴研究所	代表取締役社長	山元文晴様
協業組合ユニカラー	理事長	岩重昌勝様
	岩重昌勝氏 令夫人	岩重志織様

友好参加者

医療法人聖心会かごしま高岡病院	理事長	高岡茂様
税理士法人エンリンク	所長	山下仁様
城山観光株式会社	代表取締役社長	矢野隆一様

関連業界ご芳名

(株)網中

代表取締役 網中 裕城 様
鹿児島支店長 大串 隼人 様
鹿児島支店課長代理 駿河 真央 様

西日本製本機材(株)

代表取締役社長 笹 渕 左 治 様

ニッカ(株)福岡営業所

福岡営業所所長 牛 野 靖 憲 様

九州印刷材料協同組合

理事長 高 倉 義 雄 様

日宝綜合製本(株)

代表取締役社長 岩 坪 誠次郎 様
営業係長 野 口 貴 夫 様

九州大日精化工業(株)

営業部部長 中 村 巧 様

日本紙パルプ商事(株)九州支社

執行役員九州支社長 竹 岡 秀 一 様

旭洋(株)福岡支店

洋紙課課長 新 納 亮 様
洋紙課課長代理 村 上 洋 介 様

ハイデルベルグジャパン(株)

アカウントマネージャー 安 部 讓 二 様

(株)光文堂

取締役九州ブロック長 坂 本 弘 行 様
熊本営業所所長 佐々木 浩 二 様

富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)

西日本支社長 大 脇 茂 夫 様
主任 井 手 宏 和 様

コダック合同会社

九州事業所所長 三 角 淳 一 様

(株)ふちかみ

代表取締役社長 高 城 敏 博 様
統括部長兼営業部長 宮 脇 和 広 様
営業部主任 中 島 仁 様
営業部主任 牧 田 幸 博 様

(株)小森コーポレーション

九州支店営業1課 石 井 勝 久 様

(株)SCREEN GP ジャパン

副部長 吉 原 信 二 様

ホリゾン・ジャパン(株)

セールスアドバイザー 西 林 宏 泰 様

中越パルプ工業(株)川内工場

工場次長 大 迫 修 一 様

萬誠社印刷(株)

鹿児島営業所所長 米玉利 哲 也 様

DICグラフィックス(株)

主任 村 山 薫 様

(株)ムサシ

上席課長 坂 田 稔 明 様

(株)T&K TOKA

マネージャー 村 山 渉 様

(株)モリサワ

西日本営業部部長 光 成 貴 博 様
係長 新 屋 僚 太 様

東洋インキ(株)

九州支店長 吉 岡 浩 一 様
第1課課長 矢 野 博 祥 様

リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

代表取締役社長 広 川 勝 士 様
福岡支店長 平 野 英 典 様

組合関係参加者



(株)朝日印刷	代表取締役 前田 城 輔	濱島印刷(株)	代表取締役社長 前田 幸 一 生産本部工場長 前田 大 貴
青葉印刷(株)	代表取締役 川路 理 幸	プリントネット(株)	代表取締役 CEO 小田原 洋 一 特販部部长 川野 正 一
オダ精巧社印刷(株)	代表取締役社長 三重野 孝 一 営業部長 城ノ下 利 秋	(株)南日本新聞開発センター	営業部部长 岡田 勝 利 営業部 中谷 宗 則 営業部 今村 浩 一
鹿児島印刷工業団地協同組合	工場長(理事長代理) 米倉 良 二	協業組合ユニカラー	専務理事 鈴木 順 子 常務理事 新 勝 彦 営業部次長 大山 保 営業部課長 仮屋 孝 司
(有)錦江印刷	代表取締役 岩倉 克太郎	(株)イースト朝日	代表取締役会長 東垂水 正 昭 代表取締役社長 東垂水 美代子 専務取締役 末 永 信 一 常務取締役 戸島 和 明 知覧工場長 久里山 孝 生
(有)新光印刷	代表取締役 宮武 秀 一	(株)新生社印刷	代表取締役社長 岡崎 洋 人
(有)創文社印刷	代表取締役 井ノ口 充 博		
(株)トライ社	代表取締役 山口 慎 吾 取締役 福満 信太郎		
日進印刷(株)	代表取締役社長 二之宮 進太郎 総務部課長 荊安 良 行		
(株)あすなろ印刷	代表取締役 加世堂 雅 樹		

賛助会員参加者



コニカミノルタジャパン(株)	プロフェッショナルプリント事業部 小林 洋 介	(株)レイメイ藤井	代表取締役社長 藤井 章 生 PS事業本部長 松浦 修 平 鹿児島支店長 八木 明 友 鹿児島支店 PS 部部长 加藤 聖 吾 鹿児島支店 PS 部課長 江口 修 一
(株)共同紙販ホールディングス	執行役員鹿児島支店長 上原 康 治 鹿児島支店長代理兼営業部長 小西 哲 也	児島洋紙(株)	取締役社長 立野 孝 二 取締役営業本部長 今井 浩太郎 部長 諫山 哲 也 課長 小吹 健太郎 山口 純 平
(株)千代田サプライ	代表取締役 古賀 俊 徳 営業課長 本田 壮 史 長谷 昇	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)	鹿児島支社支社長 岡部 美 智 GC営業統括部 Partner Program センター長 小野寺 徹
リコージャパン(株)	鹿児島第二営業部・部長 中山 文 彦 九州 GC グループリーダー 井上 聡 子 九州 GC グループアシスタントマネジャー 久木田 匡	(有)高崎製本	代表取締役 高崎 勝 喜
(株)キングコーポレーション	鹿児島支店長 宮園 芳 秋 係長 田中 清 貴	南日本印刷材料(株)	代表取締役 池田 輝 幸

記念講演会

演題

「麴で世界を救う！」

日本が繋ぐ発酵食の豊かな文化と老舗種麴屋の挑戦」



講師

株式会社河内源一郎商店
代表取締役会長やまもとまさひろ
山元 正博

鹿児島で百年以上続く老舗・種麴蔵の三代目。1950年鹿児島市生まれ。東京大学農学部から同大学院修士課程（農学部応用微生物研究所）修了。77年河内源一郎商店に入社。87年社長就任（89年に解雇）。88年錦灘酒造（現きりしま高原麦酒）社長に就任。90年観光工場焼酎公園「GEN」を開設。チェコのビールを学び、95年に誕生させた「霧島高原ビール」は、クラフトビールブームの先駆けとなる。99年「源麴研究所」を設立。食品としてだけでなく、麴を利用した食品残渣の飼料化や畜産に及ぼす効果などの研究を続け、環境大臣賞を受賞。2024年試作のプレミアム焼酎が国際大会でプラチナ賞を獲得。農学博士。著書に『発酵食品はおいしいクスリ』（ポプラ新書232）、『麴のちから!』（風雲舎）他がある。



講師

株式会社源麴研究所
代表取締役社長やまもとぶんせい
山元 文晴

医学博士。鹿児島の麴屋「河内源一郎商店」の四代目。東京慈恵会医科大学医学部卒業。国立病院機構鹿児島医療センターで臨床研修医として、その後鹿児島大学旧第二外科で心臓血管外科、消化器外科を専門として従事。医師として患者さんに向き合う中で医療における麴の可能性に気づき家業を継ぐことを決意。2016年東海大学大学院に入学。救命救急医を行いつつ麴研究に従事し、2020年に医学博士号を取得。2023年（株）源麴研究所社長に就任。

記念パフォーマンス

満田昭人 *with* FRIENDS

演奏テーマ

『未来、夢、感謝』

【演目】

- ・What A Wonderful World
- ・いのちの歌
- ・Over the Rainbow 等



山崎 トム

ギタリスト、作編曲家。91 鹿児島出身。15歳よりギターを始めLive活動を行う。2012年島村楽器主催音楽コンテストにて九州ベストギタリスト賞受賞。現在、鹿児島を拠点に国内外にてジャズを主軸とした演奏活動を展開。その他、様々なジャンルのLiveサポート、レコーディング参加、劇伴及びTVCM楽曲制作等、多岐に渡り精力的に活動中。また、鹿児島ジャズフェスティバル実行委員会により設立された一般社団法人「音楽の息づく街かごしま」の理事を務めながら、鹿児島の観光や街づくりにも貢献できるような芸術文化の更なる発展に向けた活動にも注力している。

鹿児島県出身。17歳より歌手活動を始め。ビクターエンターテインメントに所属後、翌年、渋谷O-NESTにてビクターエンターテインメント主催の音楽イベント『U-NAGI』に出演。その後、福岡の『音楽塾ヴォイス』にて声楽及び作曲理論についての勉強期間を過ごしたのち、シンガーソングライターとしての活動を始める。19歳の時、有明コロシアムにて1万人を動員した『原宿スタイルコレクション』に出演し、ボーカル部門でグランプリを受賞。現在、故郷鹿児島を拠点に、「聴き手をも包み込むようなグループ」を大切にしながら、洋邦楽問わずPopsをメインとしたLive活動を展開中。

Haruna



満田 昭人

3歳よりピアノを習い始める。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業後、一般企業に就職しながら、音楽活動を続け、2000年に帰鹿。地元鹿児島にて「音楽工房 彩(いろどり)」を主催する。コンサート企画や音楽プロデュースの他に、県内外のブライダルプロデュース、監修を行い、アーティスト育成、派遣を手掛ける。作曲家としては、自己の作品やアーティストへの楽曲提供、企業CMソング、TV・ラジオの番組曲等も制作しており、作品数は100を超える。2007年にW-Pianoというpianoユニットを松本圭使と結成。2008年に「W-piano」2013年に「INVENTION」2枚のアルバムをリリースしている。現在、ピアニスト・作曲家としての個人活動はもとより「株式会社 彩」代表取締役として、地域音楽文化の発展や、アーティストの音楽活動支援等、経営者としての顔を持ちつつ、鹿児島市の病院、施設での音楽療法非常勤講師としての顔も持つ様々な音楽シーンを牽引するマルチな音楽家である。2021、2022年のコンサート「吉俣良 with Friends」の企画、総合プロデューサーでもある。



鹿児島県印刷工業組合

錦江湾に静かに佇む

桜島の雄姿に見守られ、

私たちはこの地で七十年の歳月を
積み重ねてきました。

鹿児島島の豊かな大地が育む多彩な食、

そして人々の心身を

潤し続けてきた名湯の数々。

この恵み豊かな風土の中で、

私たちは手を取り合い、

一歩ずつ確かな足跡を刻んできました。

湧きあがる湯煙や水面のきらめきが、

日々の営みを「輝き」へと

変えてくれるように。

これまでの歩みで分かち合ってきた絆は

私たちの現在を照らし、

未来を導くかけがえのない光です。

七十年の節目を迎えた今、

私たちは感謝の念を胸に

この美しい故郷と共に、

次なる時代への希望を力強く

育み続けてまいります。

鹿児島県印刷工業組合

創立70周年記念式典

創立70周年記念祝賀会・第46回印刷年始会
岩重昌勝氏「藍綬褒章」「中小企業庁長官表彰」受章祝賀会

〈開催日時〉 令和8年2月3日火曜日 〈会場〉 城山ホテル鹿児島

- 70周年記念式典 16:30～17:00 クリスタルガーデン(2F)
- 記念講演会 17:00～18:20 クリスタルガーデン(2F)
- 記念祝賀会・年始会・受章祝賀会 18:30～21:00 クリスタルガーデン(2F)